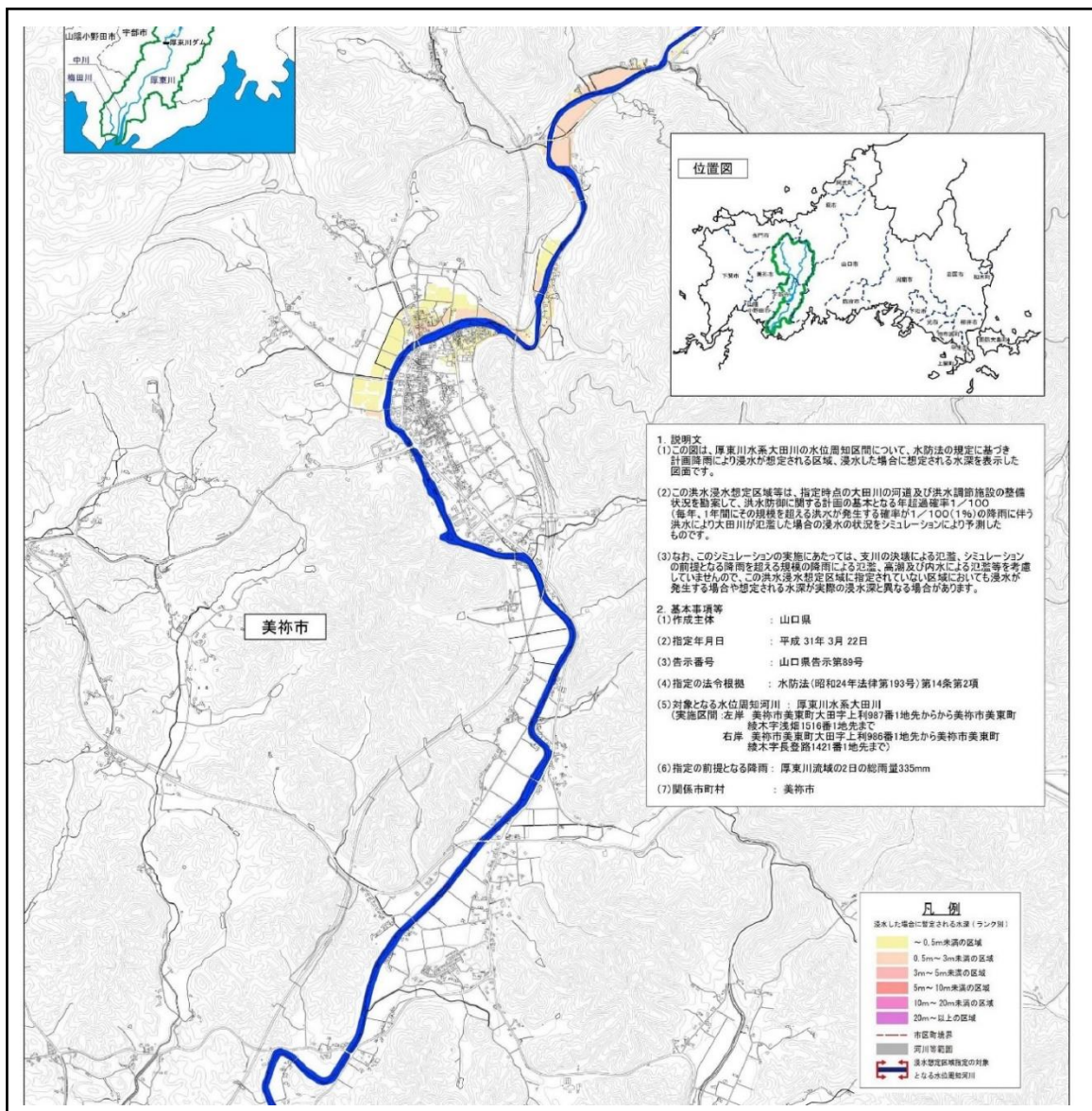


## 資料2 大田川洪水浸水想定区域図

山口県により公開されている「大田川洪水浸水区域図（平成31年3月）」には、①計画規模の降雨（厚東川流域の2日の総雨量335mm）によるものと、②想定最大規模の降雨（厚東川流域の2日の総雨量518mm）によるものの2種類がある。

### （1）計画規模の降雨による大田川洪水浸水区域図

計画規模の降雨（100年に1度程度の発生確率）により浸水が想定される区域および浸水した場合に想定される水深を示す（図-資1）。新複合施設の建設候補地は浸水想定区域外であり、洪水浸水に対してほぼ安全であると考えられる。



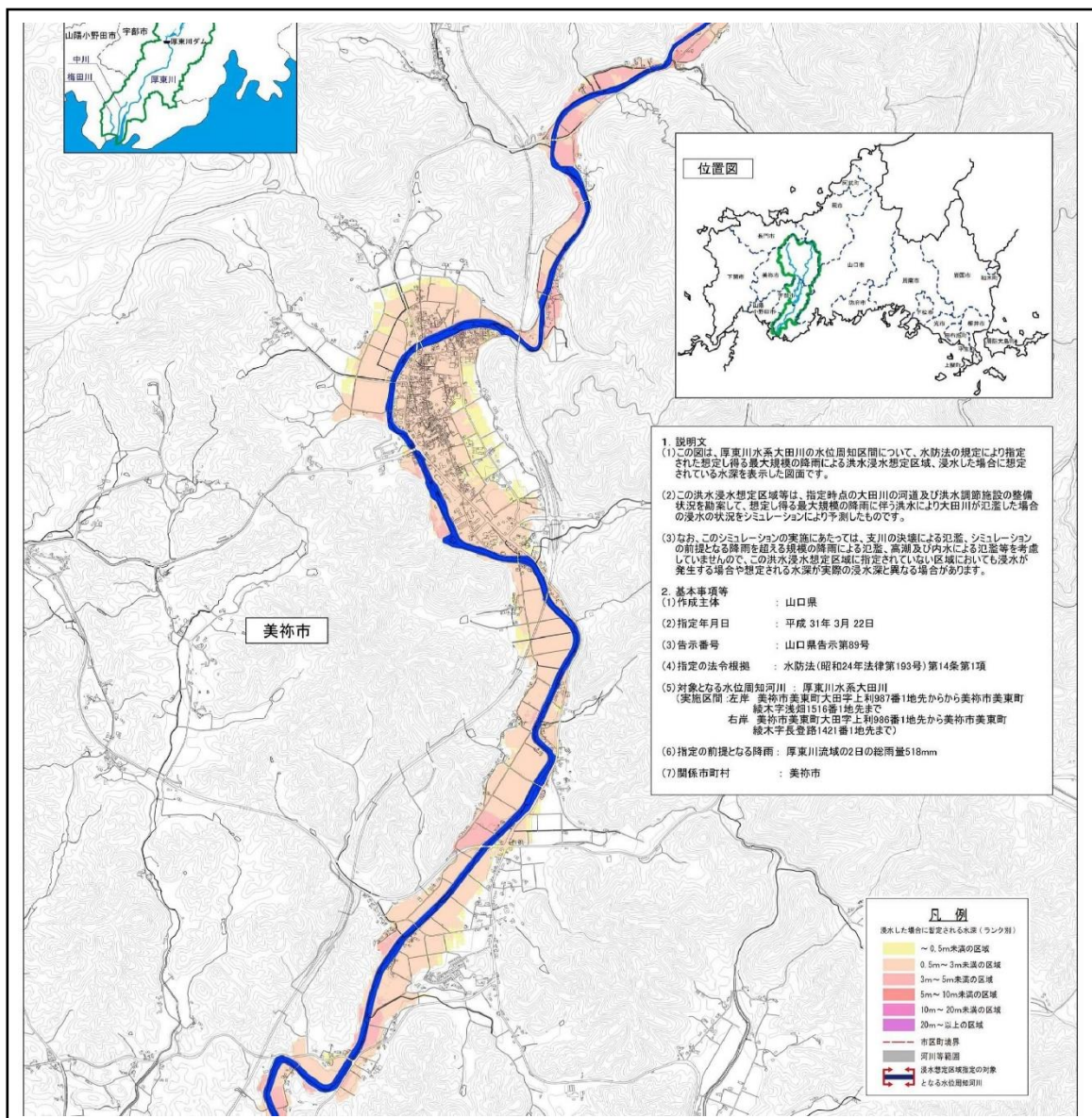
（図-資1） 厚東川水系大田川洪水浸水区域図〔計画規模〕

（「大田川洪水浸水想定区域図〔計画規模〕（山口県、平成31年3月）」より抜粋）

(2) 想定最大規模による大田川洪水浸水区域図

想定最大規模の降雨（1,000年に1度程度の発生確率）により浸水が想定される区域および、浸水した場合に想定される水深を示す。（図-資2）新複合施設の建設候補地は、0.5m～3m未満の浸水区域に指定されている。

想定最大規模の降雨による洪水が予測される際には、新総合支所は避難場所として適さないため、大田小学校校舎の2階などの避難場所への誘導を行うものとする。また、災害対策拠点機能として重要なサーバー室や備蓄倉庫などは、安全性に配慮して、中2階へ設置することを想定している。



(図-資2) 厚東川水系大田川洪水浸水区域図[想定最大規模]

(「大田川洪水浸水想定区域図[計画規模](山口県、平成31年3月)」より抜粋)